

## たむら牛を全国へPR



和牛の県代表として佐藤巧一さん（船引町長外路）、吉田辰男さん（船引町永谷）、白石道枝さん（常葉町関本）が第10回全国和牛能力共進会に出場し、それぞれに好成績を収め、たむら牛を全国へアピールしました。大会は10月25日～29日、長崎県佐世保市のハウステンボスで開かれました。5年に1度、全国の優秀な和牛を一堂に集めて優劣を競うことから別名「和牛のオリンピック」とも呼ばれています。全国から約480頭の和牛が出場し、各部門で頂点を目指しました。写真左から ●第2区（若雌の1）…佐藤巧一さん「まゆみ号」1等賞4席 ●第3区（若雌の2）…吉田辰男さん「よしくさ109号」優等賞13席 ●和牛審査競技会女性の部…白石道枝さん 優秀賞4（第5位）



## 磐城常葉駅リニューアル

木造平屋の旧駅舎が老朽化し、改築を進めていた磐城常葉駅が完成、12月6日にセレモニーが行われました。関係者があいさつ・祝辞・テープカットし、わかさ幼稚園の園児がアトラクションで、かわいらしいダンスを披露しました。あぶくま太鼓「紅組」も力強い演奏を繰り広げ、式典を盛り上げました。新駅舎は鉄骨平屋で、延べ床面積が約75㎡。大きな三角屋根が印象的です。

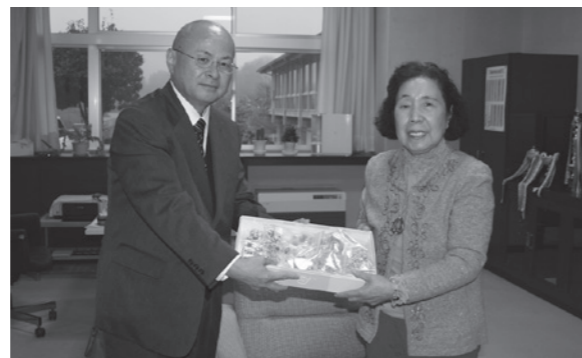
## 信州から心温まる贈り物



船引町出身で現在、長野県須坂市で編みもの教室を営んでいる伊藤俊子さんが11月26日、大越町の障害者多機能型事業所「田村」と都路中学校を訪れ、手編みの帽子やマフラー、押し花のキーホルダーを届けました。昨年も市内の小学校に編みものを届けており、「これから本格的な寒さを迎える被災地で役立ててほしい。今後も交流を通じて支援を続けていきたい」と話しました。

伊藤さんは、長年にわたる編み物や押し花などの普及、東日本大震災の支援などの取り組みが認められ、内閣府の平成24年度「エイジレス・ライフ実践者」として表彰されています。

※写真左（「田村」の皆さんと伊藤俊子さん）、写真右（都路中学校長へキーホルダーを贈呈）



## ドーナツで笑顔を届ける



被災地復興のため保育所や小学校などを訪問しているミスタードーナツの皆さんが、スマイルリングプロジェクトとして12月7日、船引保育所を訪れました。園児たちは、ポン・デ・ライオンと一緒にドーナツ体操を踊ったり、ドーナツへのデコレーションを体験したりして、楽しい時間を過ごしました。無料でドーナツも配られ、会場には笑顔があふれていました。

## 伝統文化に親しむ



「正月飾り作り、昔ばなし、もちつき」が12月8日、市歴史民俗資料館で行われました。約40人の子どもたちは、船引町ボランティア会の指導で、わらを使って正月飾り作りを体験。船引民話語り部の会による昔ばなしやもちつきを楽しみました。

## 一流歌手の歌声を堪能



吉幾三コンサートが12月9日、市文化センターで行われ、昼・夜2回公演に1500人以上が来場しました。豪華なステージとゲストに演歌歌手の華かほりが登場するなど、歌と楽しいトークに客席からは、惜しみない拍手と歓声を送られました。

## 復活の「鹿山笠踊り」



ふるさとの再生と復興の願いを込めたイベントが12月9日、常葉公民館で開かれ、「鹿山笠踊り」が披露されました。若い男女が花笠を持って歌と太鼓に合わせて踊る鹿山笠踊りは、昭和時代に祝い事や演芸会などで披露されていましたが、その後衰退し、昨年、コミュニティ助成事業で備品を整備して本格的な活動を再開しました。

## 社会へ貢献「宝くじ」



船引町下里地区で、盆踊り用品などが整備されました。整備した備品は、盆踊り櫓、太鼓、投光機（発電機付き）です。 ※コミュニティ助成事業は、（財）自治総合センターが宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源に、コミュニティ事業に助成を行い、健全な発展をはかるとともに、宝くじの普及広報を行っています。宝くじは広く社会に役立てられています。